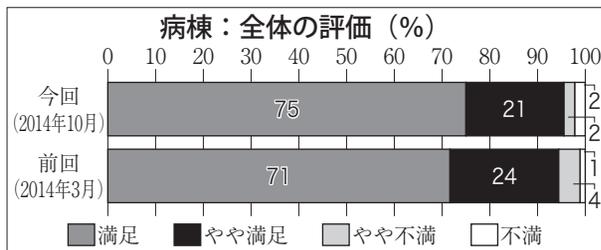
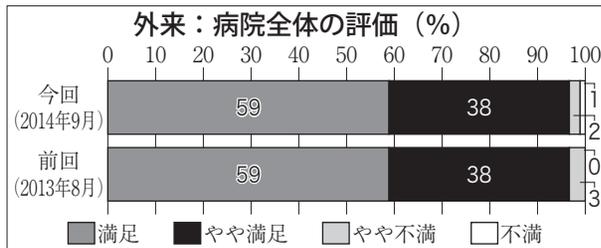


患者さん満足度調査結果が まとまりました

地域の皆様が満足される病院を目指し、外来患者さんアンケートを実施しました。実施は9月8日と9日の2日間で、603名の回答をいただきました。

また、病棟においては、退院患者さんを対象に10月の1ヶ月間アンケートを実施し、189名の回答を頂きました。総合的な印象の設問結果を下図に示します。今回の調査結果をもとに、よりよい病院となるよう努めてまいります。



「糖尿病教室」のご案内

当院の糖尿病教室は、内科 大西医師を中心とした院内の専門スタッフで構成されたチームにより患者さんが必要としている知識や情報をお届けできるように活動しております。どうぞご活用ください。

■主な学習内容 (担当スタッフ)

病態 (医師)、フットケア・セルフカウンセリング (看護師)、生活習慣・体重管理 (保健師)、薬物療法 (薬剤師)、運動療法 (理学療法士)、検査項目・自己測定 (臨床検査技師)、口腔ケア (歯科衛生士)、食事療法 (管理栄養士)

■2月の学習予定表

開催日	時間	内容 (担当スタッフ)
2月17日 (火)	13:20~	病態講話 (大西医師)
	13:50~	薬物療法 (薬剤師)
	14:20~	運動療法 (理学療法士)

予定表は、内科外来の患者さんへ診察時に配布しております。

日時等をご確認のうえお申込みください。

■参加対象者

当院へ通院中の糖尿病患者さんとそのご家族。

■お問合せ先

参加方法、学習内容等、下記へお気軽にお問い合わせください。

ひたちなか総合病院栄養室 (直通) 029-354-6349

COPD (慢性閉塞性肺疾患) をご存知ですか？

総合健診センタ 保健師 岩谷 悦子

COPDは別名タバコ病と言われており、原因の90%以上は喫煙です。今回は年々増加傾向にあるCOPDについて説明します。

1. COPDとは？

主にタバコによっておこる気道や肺の炎症性疾患で、喫煙者、喫煙歴のある人に多い病気です。階段の上り下りなど体を動かしたときに息切れを感じたり、慢性のせき、たんが主な症状で治療を受けずに放置しておく徐々に呼吸機能が低下し次第に重症化して行きます。

日本人の40歳以上のCOPD有病率は8.6%、患者数は約530万人と推定されています。厚生労働省の統計によると2013年のCOPD死亡者数は16,443人で、増加傾向にあり、死亡順位は全体で9位となっています。

2. 検査方法

スパイロメーターという機械を使った呼吸機能検査によって行います。スパイロ検査は、COPDの診断には欠かせない検査で肺活量と息を吐くときの空気の通りやすさを調べます。

3. 早期発見・早期治療が大切！

- ①治療の第一歩は、禁煙です。きっぱりタバコをやめる事が重要です。
- ②重症化予防のためインフルエンザや風邪などの感染症の予防が大切です。
- ③薬物療法、運動療法により、進行を抑え、症状を軽減することが可能ですが、更に重症になれば呼吸不全を起し酸素療法が必要になります。

早期発見、早期治療が重症化を防ぐ鍵となり、現在喫煙している人のみならず、過去に10年以上喫煙していた人も、症状が出る可能性が高いので留意が必要です。気になる方は、早めに医師にご相談ください。

当センタの人間ドックでは、スパイロメーターによる呼吸機能検査を実施しています。

またオプションで、肺を更に詳しくみる『肺がんCT検診』も実施しています。

2013年の肺がんCT検診の結果ではCOPDを疑われる方が6%発見されました。喫煙している方は、新年を機に禁煙を実行し、COPDの予防に努めていただきたいと思えます。

医師異動の紹介

診療科	氏名	異動日
循環器内科	湯川 明和	退職 (2014. 12. 31)
	織内 直毅	退職 (2014. 12. 31)
臨床研修医	宮崎 峻弘	退職 (2014. 12. 31)
	古谷 翼	退職 (2015. 1. 4)
	海野 麻実	退職 (2015. 1. 4)
	林 孝典	採用 (2015. 1. 5)
	渡邊 めぐみ	採用 (2015. 1. 5)